

「さがみロボット産業特区」商品化第1号

介護用「パワーアシストハンド」が発売されます！

神奈川県では、「さがみロボット産業特区」の取組によって、生活支援ロボットの実用化・普及を通じた地域の安全・安心の実現を目指しています。

このたび、県が重点プロジェクトとして支援している「パワーアシストハンド」のうち、簡単なスイッチ操作で麻痺した手の曲げ伸ばしをサポートするタイプが商品化第1号として発売されることとなりましたので、お知らせします。

1 製品概要

製品名： パワーアシストハンド

販売者： 株式会社エルエーピー

所在地	厚木市妻田西1-19-22
電話	(046) 224-2466

説明： 脳血管疾患により手や指が麻痺や拘縮（こうしゅく）してしまった方のQOL（生活の質）向上のため、空気圧を利用して、手を握ったり開いたりする動作を安全にサポートする装置です。麻痺している手の甲側にベローズ（蛇腹）の付いたグローブを装着し、もう片方の手でスイッチを押したり離したりすることで、グローブを装着した手が握ったり開いたりします。この商品は、神奈川工科大学の山本圭治郎工学博士の研究成果を県央地区の中小企業者のグループが製品化したものです。



このプロジェクトは引き続き開発を進め、平成28年度を目途に、健常な片手の動きをセンサーで読み取り、麻痺している手に動きを伝えて同じように動かすロボットを商品化する予定です。

実証に協力した七沢リハビリテーション病院脳血管センターの山下病院長の話

手指の麻痺の回復は難しいものです。回復を目指すためには、こわばりをほぐし、関節が固まるのを防ぐ必要があります。それには他動的に手指を屈伸させる反復運動をなるべく回数を多く、長期間にわたって続けるほうが良いのですが自分ではなかなかできません。本機はそれを可能にしてくれる補助機になると期待しています。

2 販売開始日

6月3日 (火)

(参 考)

重点プロジェクトについて

「さがみロボット産業特区」における生活支援ロボットの開発案件のうち、早期の実用化が期待できるものや、県民生活に大きなインパクトを与えるものなどを指定して、実証実験などについて支援しています。(現在15件)